

森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	(vi) 事業総額 (千円)			当年度基金への積立額 (千円)	事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)	(A) うち森林環境譲与税 (千円)	(B) うち他の財源 (千円)				
② 意向調査、集積計画等作成	森林経営管理事業	6	5	1	0	令和元年度から令和3年度に実施した森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査の回答者のうち、「町に委ねることを検討したい」と回答した方を中心に67名に森林経営計画の対象森林として森林整備を勧める文書を送付した。	意向調査実施面積：134.72ha 文書受領者のうち5名(21.84ha)が愛別町森林組合と新たに契約し、今後、森林経営計画の対象森林として整備することとなった。	【ワンブリーズ】 税活用により、森林経営計画に基づいて実施した町内の私有林の森林整備に対して補助するとともに、森林整備前に必要な現地確認及び実測のための森林測量システムを導入することができ、森林整備のための環境整備等を進めることができました。
③ 私有林整備	森林活性化対策事業	2,805	2,804	1	0	森林経営計画に基づいて実施した町内の私有林の森林整備(下刈り・除伐・枝打ち・間伐)に対して補助した。(補助率：北海道造林事業標準経費の7%以内)	下刈：65.48ha 間伐：51.00ha	【詳細】 愛別町は、総面積の約80%が森林であり、多くは森林整備計画において水源涵養林(水源涵養機能維持増進森林)として位置づけられており、木材生産機能と公益的機能の調和のとれた施策の推進が必要な地域です。 そのため、意向調査対象候補森林762.07haにおいて、本税を活用し長期間にわたって施策が実施されていない森林の解消に取り組むこととしています。令和4年度は、令和元年度から令和3年度までに実施した森林経営管理法に基づく意向調査の回答者のうち、「町に委ねることを検討したい」と回答した方を中心に67名に「森林経営計画の対象森林として森林整備を勧める」旨の文書を送付し、5名(21.84ha)が愛別町森林組合と新たに契約し、森林経営計画の対象森林として整備することとなりました。
⑥ 林道・林専道の整備等	林道維持管理事業	829	828	1	0	既設林道の維持管理のため、草刈り及び倒木処理を行った。	7路線 延長15,188m、刈幅2.4m	そのため、意向調査対象候補森林762.07haにおいて、本税を活用し長期間にわたって施策が実施されていない森林の解消に取り組むこととしています。令和4年度は、令和元年度から令和3年度までに実施した森林経営管理法に基づく意向調査の回答者のうち、「町に委ねることを検討したい」と回答した方を中心に67名に「森林経営計画の対象森林として森林整備を勧める」旨の文書を送付し、5名(21.84ha)が愛別町森林組合と新たに契約し、森林経営計画の対象森林として整備することとなりました。
⑦ その他(森林整備)	森林測量システム導入事業	1,815	1,815	0	0	町内の民有林において実施する森林整備を行うにあたり必要な現地確認及び実測をするための森林測量システムを導入した。	森林測量システム一式の導入	既存林道7路線は、適切に維持管理し、今後の森林整備の基盤とします。 上川管内の市町村では、「緑の循環会議(SGEC)」を取得していますので、今後の林産業の活性化が期待できます。
⑦ その他(森林整備)	林業総務管理経費	82	81	1	0	北海道が導入し、市町村等が森林整備のために利用している森林計画クラウドシステムをLG-WAN(行政専用のネットワーク)回線に接続して使用するための回線使用料を支払った。	個人情報管理の上で必要なセキュリティ対策の強化	担当手確保の対策としては、北海道林業・木材産業人材育成協議会への賛助金を拠出することにより、北海道立北の森づくり専門学院生の就学を支援しました。 また、個人情報を管理する上で必要なセキュリティ対策の強化のため、森林計画クラウドシステムは、LG-WAN回線を使用しました。
⑧ 担い手確保	林業総務管理経費	30	30	0	0	北海道立北の森づくり専門学院生の就学支援のため、北海道の林業・木材産業の次代を担う人材の育成支援を目的に設立した北海道林業・木材産業人材育成支援協議会へ賛助金を拠出し、協議会が学院生に給付金として年3回支給して支援した。	給付金支給者：R3入学者36名及びR4入学者40名 計76名	林業総務管理経費として、町内の森林において森林の保全管理、森林資源の活用を図る活動組織に対して、北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出し、活動を支援しました。
⑩ その他(木材・普及啓発関係)	林業総務管理経費	42	41	1	0	上川管内の4市16町2村で連携して森林認証(SGEC、COC)を取得し、持続的な森林整備及び木材の利用促進を推進するために設立した「上川森林認証協議会」への負担金を拠出し、協議会が主体となって、森林認証取得や取得に係る勉強会などの取組を実施した。	町内のSGEC森林認証取得面積：478.87ha	林業振興管理経費として、民有林の森林整備のための現地調査に必要なレーザー距離計や輪尺等の消耗品を購入しました。 地域普及促進事業として、「はたちのつどい」の対象者に地域材及び森林認証材を使用したスマートスタンドを記念品として贈呈しました。 残額は、令和9年度開校の愛別町小中一貫校舎新築工事における内装等木質化に向けて基金を積み立てました。
③ 私有林整備	林業総務管理経費	50	49	1	0	地域住民や地域外関係者等から構成された活動組織が町内の森林において実施する森林の保全管理、森林資源の活用を図る取り組みに対して、北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出し、支援した。	活動組織の活動実施面積：2.6ha	
⑦ その他(森林整備)	林業振興管理経費	354	352	2	0	町内の民有林において森林整備のための現地調査に使用するレーザー距離計や輪尺等の消耗品を購入した。	レーザー距離計 1個、輪尺等 一式の購入	
⑮ 森林・林業・木材普及活動等	地域材普及促進事業	627	627	0	0	地域材及び森林認証材を使用して製作したスマートスタンドを「はたちのつどい」の対象者に記念品として贈呈した。	「はたちのつどい」の対象者 29名に贈呈	
⑰ 基金積立	森林環境譲与税基金	3,210	3,210	0	3,210	令和4年度以降、必要な森林整備等の事業は実施しつつ、残額があった場合は令和9年度開校の愛別町小中一貫校舎新築工事における内装等木質化に向けて基金を積み立てた。		
合計		9,850	9,842	8	3,210			